

常任委員会Q&A

総務委員会

開会日 2月23日(木)・27日
(月)・3月22日(木)
案件 議案7件・陳情2件・
報告3件等

●時報の中止についての陳情

問 地域でどのように活用されているのか調査すべきでは。

答 活用の上れ方もあるが、毎日故障していないかの確認は、なんらかの形で必要と考える。

●人権救済機関設置法案について反対の意見書を政府に提出する決議を求める陳情

問 以前の法案に比べ、差別行為への規定部分の違いは。

答 差別等に対する措置が強制力を持つ対応であったが、今回の法案は、それらを取り除かれ権限としては弱いものになった。

区民厚生委員会

開会日 2月23日(木)・27日
(月)・29日(水)
案件 議案13件・陳情2件・
報告3件

●介護保険料の値上げに関する陳情

問 24時間の定期巡回サービスの導入はできるのか。

答 早めの実現したい。

問 介護従事者は足りているか。

答 今後、都市部で不足すると懸念されている。

●慢性疲労症候群患者の支援を求める陳情

問 この患者は、何人くらいいるのか。

答 厚生労働省の研究班では、地域人口の0.3%と推計している。

都市整備委員会

開会日 2月24日(金)・28日
(火)・3月7日(水)
(14日(水))
案件 議案2件・請願1件・
陳情3件・報告5件

●コミュニティバスの運行を要望する請願

問 交通不便地域はいくつかあるが、豊島区全体でどこにバス路線が必要なのか検討すべき。

答 現在の路線等、全体の検証結果を踏まえての議論になる。

●自転車の安全利用に関する陳情

問 安全が確保されるよう、現在行っている条件整備は。

答 正しいルール周知のため、リーフレットやチャラシの作成、交通安全教室などを行っている。

子ども文教委員会

開会日 2月24日(金)・28日
(火)・29日(水)
案件 議案3件・陳情1件・
報告8件等

●池袋本町地区校舎併設型小中学校の建築計画の見直しを求める陳情

問 変更前の計画は19年度から4年間かけて丁寧の説明している。しかし、22年11月の計画変更決定後、その説明が地域の関係者に対して十分にされていないからこのような陳情が出されたのではないのか。

答 地域協議会を活用して周知を図れると考えていたが、地域の関係者への事前説明が不十分だったと反省している。

予算特別委員会

2月17日の本会議にて、平成24年度一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療事業会計・介護保険事業会計の4会計予算を審査するため、18名の委員からなる予算特別委員会を設置しました。

8日間にわたる質疑を行い、最終日の3月16日には、会派等ごとに意見表明(要旨は8面)を行った後、採決を行いました。なお、審査期間中に提出された一般会計予算修正案は、賛成少数で否決しました。以下、質疑内容等の概要をお知らせします。

議会費

●区議会議員関係経費

問 今後の議員年金給付費負担金の財政負担の予測は。

答 昨年の国会で地方議会議員の年金制度が廃止されたが、本区の財政負担は、本年度の1億4千900万円の水準が続いたのち27年度に2億円を超えると想定している。

総務費

●アジア地域セーフコミュニティ会議及び認証式実施経費

問 1千800万円の内訳は。

答 3日間の会議費用の合計額。1日目の東京芸術劇場での開会式・認証式で約1千万円。2日目・3日目のサンシャインシティでの他2市と合同で行う分科会の負担金で400万円。残る400万円が区民へのPR経費。

福祉費

●保育サービス等環境整備について

問 認可保育所の年度途中の入園はスムーズにいかないという聞いているが。

答 空きがなく入園できないケースがある。

土木費

●道路橋梁費

問 道路・橋梁・街路灯の更新について今後の見通しは。

答 道路は傷み具合が場所によって異なり、毎年パトロールをし、整備が必要な路線を選ぶ。橋梁は長期的なライフサイクルコストをみながら維持修繕。街路灯は30年ぐらいを目安に回収、エコ街路灯に換えていく。

衛生費

●がん対策について

問 24年度からのがん検診無料化のPR方法は。

答 特定健診を受診する際に、個別の案内をしている。また、広報としまやパンフレット等で周知する。

文化商工費

●四季の里宿泊料金の一部補助について

問 友好都市である福島県猪苗代町にある四季の里の宿泊料金の一部を補助する事業の効果は。

答 11月から2月末までの間で補助対象となったのは延べで356泊である。区だけでなく都の補助などもあり、観光客はある程度来ていただけたと考えている。

教育費

●インターナショナルセーフスクールの認証取得事業について

問 朋有小学校が今回セーフスクール認証取得を目指しているが、その理由は。

答 朋有小学校が高密度都市豊島区を象徴する立地にあることやケガや事故が発生する危険性が高い環境にあり、その課題を解決するために取り組んでいる。

委員名簿

堀 宏道	委員長	〇副委員長
〇大谷 洋子	(自民党豊島区議団)	
西山 陽介	(公明党)	
古坊 知生	(みんなの会)	
古堺 稔人	(みんなの会)	
石川 大我	(自治みらい)	
高橋佳代子	(公明党)	
中田 兵衛	(減税日本)	
磯 一昭	(自民党豊島区議団)	
森 とおる	(日本共産党)	
藤本きんじ	(自治みらい)	
中島 義春	(公明党)	
星 京子	(自民党豊島区議団)	
竹下ひろみ	(自民党豊島区議団)	
渡辺くみ子	(日本共産党)	
木下 広	(公明党)	
里中 郁男	(自民党豊島区議団)	
垣内 信行	(日本共産党)	

防災・震災対策調査特別委員会視察報告

23年12月13日から14日にかけて、東日本大震災の被災地である宮城県仙台市及び岩手県釜石市を視察し、本区でも想定されるさまざまな課題について調査しました。

仙台市では、都市型災害として想定されるマンションの地震被害の実情を視察し、マンション内の自主避難所運営にあたっては日頃からのコミュニケーションの重要性を再認識しました。また釜石市では、被災の状況、行政の対応状況及び復興計画の説明を受け、甚大な被害を受けた鶴巻地区を視察しました。今回の視察から得られた知見を本区の防災・震災対策の充実強化に生かしていきます。

平成24年度各会計予算に 対する各会派等の

意見表

【要目】

自民党豊島区議団

平成24年度一般会計予算及び3特別会計予算に賛成の立場から意見を述べる。

本予算は、厳しい財政環境の中でも、区民ニーズに対応した160の新規・拡充事業を盛り込むとともに、防災対策やセーフティコミュニティへの取組みなどに重点をおき、創意・工夫され、「安全・安心創造都市」を着実に実現する予算として評価する。

款別に意見を述べると、総務費では、区民ひろばは、セーフティコミュニティの核として、利用者100万人を目指し頑張っている。地域防災力の強化では、「総合的な震災対策推進に向けた基本方針」に沿い、防災対策を著実に進めるよう要望する。福祉費では、訪問支援などの高齢者対策事業については、支えている家族等も含めて、安心できる事業を推進し、高齢者が住みやすい区となるような取組みを。特に、敬老入浴事業には、より一層力を注ぐよう要望する。清掃環境費・都市整備費・土木費では、がれき処理の支援、狭い道路整備の推進、池袋駅周辺のバリアフリー化等の取組みを。文化商工費・教育費では、中小企業を地域ぐるみで支えられるように、行政の支援を。セーフティスクールの認証については、認証後も活動を継続し、他校にも波及していくよう要望する。

公明党

平成24年度一般会計予算及び3特別会計を可決することに賛成する立場から意見を述べる。

予算編成に当たり、①区民目線に立った行政運営②区民の命を守る防災・震災対策の強化③セーフティコミュニティの立場から安全・安心のまちづくり④我が党の要望にこたえられているか等を主眼に審査に臨んだ。

款別に意見を述べると、総務費では、初期消火の共助の体制づくり、区民ひろばの備蓄品・防災訓練の拡充を望む。福祉費では、保育計画見直し、子どもスキップの設置、学童保育延長拡大、CSWの更なる取組みを望む。衛生費では、がん検診自己負担無料化の広報、子宮頸がん予防接種対象期間拡大、昨年認可された予防接種への助成検討を望む。都市整備費では、高齢者ケア付き住宅モデル構築、木造密集地域解消、東池袋バリアフリー化、大塚駅周辺整備を望む。土木費では、自転車走行環境整備と安全な駐輪場環境整備を望む。文化商工費では、NPOとの更なる連携、子どもの文化体験施策拡充、南長崎中央公園プール料金見直し等を要望。教育費では、学校司書全校配置、子どもの読書環境整備、がん教育の教育側の体制整備を望む。公債費では、起債のルールづくり、公会計の見える化を望む。

日本共産党

3つの観点で審査にあたった。①高野区政は「強固な財政基盤を作る」として、これまで区民サービスを大幅に削減。その

一方、基金をため込み、借金返済を優先し、財政を立て直したと言っている。ところが予算は56億円の財源不足となり、今後、またもや区民サービスの削減や使用料等の引き上げなど区民負担増を進めるとしている。一方、「活力ある街づくり」として、人を呼び込むための開発を進めている。結局、これは区民を追い出すことにつながるもの。

②保育園の待機児解消をしていない。待機者に見合った特別養護老人ホームの増設をしない。防災では避難所の増設の観点がない。福祉救援センターも不足。公営住宅対策、家賃補助制度も不十分。小中学校の私費負担は重すぎる。

③新庁舎建設、LRT、東西デッキなどの大型開発や池袋交通戦略などは、多額な財政負担や居住環境の悪化など、将来にわたり莫大なつかけを区民に負わすことは明らか。よって、一般会計予算に反対。保険料の引き上げで必要な医療や介護が受けられない、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療事業会計、介護保険事業会計の3特別会計にも反対する。

自治みらい

平成24年度一般会計予算並びに3特別会計予算に賛成の立場から意見を述べる。

予算審査にあたり、一貫して、「増分主義予算編成の見直し」と、きめ細かい歳入の確保」という視点を基本として臨んだ。

以下、款別、会計別に意見を述べる。総務費では、収納業務の多クヤンネル化、震災時のマニュアルやネットワークづくりを要望する。福祉費では、生活保護費の不正受給の防止策を。衛生費では、自殺・うつ予防事業について、自殺未遂経験者等への支援強化を。清掃環境費では、P

PSからの電力購入拡大、再生可能エネルギーの更なる活用等を要望。都市整備費では、ワンルームに住む20・30代単身者向けの支援を。土木費では、自転車駐車場の防犯体制強化、自転車ヘルメット普及啓発を。文化商工費では、現庁舎地活用が資金計画に影響が出ないよう配慮し、代替施設の準備を。教育費では、目白小学校スクールバス事業について安全誘導員の増員を。公債費では、計画的な返済を。国民健康保険事業では、迅速で多彩な収納対策を。介護保険事業では、要介護認定の調査するニーズに応えつつ将来を見据えた区政運営が求められる。

みんな・無所属刷新の会

平成24年度予算案について、賛成の立場から意見を述べる。

今回の予算審査において行政から出された「聖域なき事業の総点検」という言葉を重く受け止め、より一層の無駄の削減・効率的な業務遂行のための準備期間と捉え、今回の予算案に賛成するとともに、効果効率の追求のために積極的にお手伝いをしたい。以下、審査の際に指摘・要望した項目をまとめる。

○24年度に導入される事務事業の外部評価は参考意見で終わらせず区政に反映させる仕組みに。○無駄なし検討委員会は問題点の更なる洗い出しと素早い改善行動を期待する。○外部人材を登用するシティブロモーション担当課長は、前例に縛られない大胆な施策が実現するよう最大の助力を。○子育て支援は、メニュー選択制の導入等きめ細かく利用者サイドに立ったサービスの提供を。○生徒を感化できるレベルの高い教師の育成を。

○補助金を支給する事業は、投入した費用に対する効果を明確に示すことができるよう改善を。○委託契約は、委託単価が適正であるかの点検を。○医療費は、過剰診療がないようにチェック体制を整え、ジェネリック医薬品の使用促進など医療費全体の軽減を。

減税 日本

平成24年度一般会計予算及び3特別会計予算に対し、マネジメント、戦略性、公民連携という3つの視点から精査した。

高野区政の諸改革は重大な局面を迎え、今やマネジメント機能の強化が必要であり、さらに民営化もまだ十分とはいえない。そこで、今後の予算編成にあたり以下のことを要望する。

①全庁的にビルド優先ではなくスクラップ優先の取組みを。②政策評価委員会の策定には、予算書等の見直しを含め、議員参加や事業仕分け手法の導入を。③職員研修のあり方は、管理監督者の教育・研修の考え方をよく把握した上で研修全体の見直しを。④新庁舎の総合窓口が機能するよう、更なる公民の連携を。⑤区民ひろばの自主運営館を増やす以前に実施事業の絞込みを行い、拠点としての施設のスリム化を。⑥教育費新規事業の成果をきちんと検証する方針の導入を。⑦特色ある学校づくりや評価に対し積極的な取組みを。⑧竹岡健康学園の存続については、早急に検討を。

3特別会計については、独自の努力は十分とはいえず、保険事業運営体制は、なお一層経営努力の余地があると考えられる。以上、今後にも更なる期待を込めて、平成24年度一般会計予算及び3特別会計予算に賛成する。